

8. カパンジー対立テスト Kapandji index, Kapandji opposition score 推奨グレード C

カパンジー対立テストは、母指対立運動のすべての構成要素を考慮に入れ、器具を使わずに測定できる方法を報告した¹⁾。この評価は、母指の指腹が、stage 0（示指基部との撓側面に接している。対立ゼロ）から stage10（遠位手掌皮線に到達する）のうち、最高地点に達する点を点数化した母指対立機能評価である¹⁾。評価の注意点は、母指の先端が、広いコースですべての stage を経て到達していれば正常であると考えられるが、手のひらを這うような狭いコースで stage10 に到達したとしても正常ではない²⁾。また、母指の反対立テストは、4段階で評価される²⁾。カパンジー対立テストは、信頼性、妥当性の評価の報告はされていないが、母指だけでなく、他指の屈曲、伸展動作を入れた、Modified Kapandji index は、0~50点で評価され、全体的な手の可動性を決定することが可能である³⁾。この評価は、全体的な手の可動性の障害の重症度を評価でき、その信頼性と妥当性は評価されている⁴⁾。

引用文献

1. Kapandji A. Clinical test of apposition and counter-apposition of the thumb. *Ann Chir Main* 5:67-73, 1986.
2. Kapandji A. Clinical evaluation of the thumb's opposition. *J Hand Ther* 5: 102-106, 1992.
3. Lefevre-Colau MM, et al. Reliability, validity, and responsiveness of the modified Kapandji index for assessment of functional mobility of the rheumatoid hand. *Arch Phys Med Rehabil* 84: 1032-1038, 2003.
4. Kroon FPB, Damman W, et al. Validity, reliability, responsiveness and feasibility of four hand mobility measures in hand osteoarthritis. *Rheumatology (Oxford)* 57: 525-532, 2018.